



平和の森公園 守ろう！緑とひろば

2016.10.5発行

9.25 86人でトーク会



次世代に残すべきモノは何か～緑か借金か～

区民の手つなぎの輪・運動を さらに広げていこう！

会主催の9月25日のトーク会には、86名の方々に参加いただきました。

参加者からは「区長は区民の声を聴かない」「もっと区民全体に運動を広げたい」「中野駅前再開発の玉突きで起きていること」「税金の使い方からしても、区民みんなの問題」「災害時の周辺住民避難場所が心配」「周辺住民への説明がない（夜間照明やレジャー施設化する動きもある）」など、怒りや不安の意見が続出しました。また、会からのサポーター募集に多くの方々が応えて申込みしてくださいました。

これからもさらに運動を強めていきたい思いを共有し、大きく前に踏み出す会となりました。

会の最後には「中野区民のみなさんへのアピール」を採択しました。→裏面に掲載

※なお、トーク会参加の皆さんからの募金は、43,134円となりました。

・・・ありがとうございました・・・

サポーター大募集！！

◆会の運動を続け 輪を広げていくために◆

あなたの力をお貸しください。

周りの方を誘ってください。

申込みは・・・

会のメールへ parks@peacewoods-journal.com

電話 このみ 許斐 090-1458-8137

「サポーター」って何をやるの？

- ニュースを配る、“区民のひろば”に掲載する。
- 友人・知人に平和の森公園で起きている問題を知らせる。
- 宣伝行動に参加する。 など

区主催

「平和の森公園再整備基本設計(案)」についての説明会

・・・参加し 意見を出しましょう！・・・

10月16日(日)午後2時から4時 区役所9階会議室

18日(火)午後7時から9時 7階会議室

19日(水)午後7時から9時 9階会議室

一 会の運営は、募金等で行っています - 今後の活動・チラシによる宣伝などのためにご協力を！

ゆうちょ銀行 口座

10180-72339671

緑とひろばの平和の森公園を守る会

代表世話人 杉 英夫

他金融機関から振り込みをされる場合は、次の内容をご指定下さい。

〈店名〉0一八(読み ゼロイチハチ)

〈店番〉018 〈預金種目〉普通預金〈口座番号〉7233967

緑とひろばの平和の森公園を守る会 問い合わせ 090-7247-0448(根岸)

代表世話人 杉 英夫

ホームページ

<http://peace-woods-park.society.ne.jp/>

「中野一緑とひろばの平和の森公園を守る会」で検索



緑と住民自治と情報公開が重大な危機に直面しています

『次世代に残すべきモノは何か～緑か借金か～トーク会』から 中野区民のみなさんへのアツピール

2016年9月25日
緑とひろばの平和の森公園を守る会

中野区は十分な区民・利用者との合意形成に努めることなく、平和の森公園再整備を進めています。その過程で見過ごすことのできない重大な事態が明らかになっています。

＜その1＞中野区の憲法とも言える『自治基本条例』を無視

中野区自治基本条例第14条2項で「区民の参加により出された意見をふまえ、区民の総意又は合意点を見極める」と明記されています。しかし、意見交換会やパブリックコメントで出された区民の意見の圧倒的多数が計画の見直しを求めるものでしたが、その合意点がどこにあったのかを区民にも区議会にも明らかにしないまま強引に計画を押し進めていることです。

＜その2＞区民・区議会への情報隠しと操作

今年4月に策定された「新しい中野をつくる10ヵ年計画(第3次)」では、平和の森公園再整備に要する経費は55億円と示されました。ところが、約4ヶ月後に突然、108億円に倍加されました。その理由について中野区長の説明は意図的な情報隠しと言わざるを得ないものでした。具体的には①新体育館建設費の50億円から86億円の膨張は地下に下水道施設を作る必要への対応のため②公園の整備費2億円から22億円の膨張は少年スポーツ広場を拡張するためと説明しました。しかし、いずれも本年2月に示された「平和の森公園再整備基本構想」に盛り込まれた事項です。さらに計画策定の委託先企業から3月31日提出された報告書でも大幅な費用増が見込まれていたことは明らかであったにもかかわらず、4月以降実施された区民説明会やパブリックコメント、そして6月の区議会においてすら報告されていなかったのです。

しかも、草地広場に300本トラック設置が計画されていますが、フィールドがないため中野区民陸上大会や中野区立中学校総合体育大会が開催できないこと、大人も使える野球場と銘打っても中途半端な大きさで様々な支障が考えられ、経費の有効活用の面でも問題と言わざるを得ません。

＜その3＞『緑のある生活を』(中野区報9/5付)って300本の立ち木を切ることですか！

区報では四季の森公園の他、南部に開設された大規模公園を紹介し、緑が増えたと宣伝していますが、300本以上の立ち木を伐採する平和の森公園の再整備計画には一言も触れず、口を拭いています。四季の森公園以降新規開園された公園の立ち木をすべて合わせても200本前後で、それをはるかに上回る立ち木が消されようとしているのです。今年の夏も緑の大切さを実感させられた暑い暑い日々でした。地球温暖化に手を貸す施策を絶対認めることはできません。

以上のことから、改めて住民自治の原点に立ち返り、平和の森公園再整備計画について再検討することを多くの区民のみなさん、利用者のみなさんと力を合わせて中野区に強く求める決意です。